



大田区立清水窪小学校

# かしわ

清水窪小学校の教育目標

- 自然や友達を大切にする子ども
- 心身ともにたくましい子ども
- よく考え、最後までやりぬく子ども

令和4年 1月号

## あけましておめでとうございます

校長 高木 圭一

保護者・地域の皆様には、健やかに新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。旧年中は本校の教育に御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございました。本年も子どもたちの健やかな成長と地域と共に歩む教育活動を推進して参ります。今後とも皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年、新年度、新学期などの節目は、自然と気持ちが前向きになり、新たな目標をもつ良いきっかけとなります。自分なりの目標をもち、その達成に向けた自分の行動と変化を振り返りながら生活することで、自らの成長を実感できます。自らの意志と行動で自分を変化、成長させている実感は自信につながり、未知の体験にも臆せず立ち向かう意欲へとつながります。2学期には、学芸会、子どもまつり、持久走大会などの行事が実施できました。その取り組みにおいて、子どもたちは自ら目標をもち努力し、自らを成長させてきました。

3学期は、子どもたちにとって次の学年への目標をもつ上で大切な期間です。現学年での1年間を振り返って自己の成長を確認したり、上級生の姿から自分の進級後の姿を想像したりすることを通して、具体的な目標をもつことが、よりよい成長につながります。3学期に本校では、各学年のSC科で学んだことを発表する「サイエンスフェスティバル」を実施し、そこで下級生は上級生から、学習内容の見通しを得ると共に学びを追究する姿勢を学びます。また、委員会活動、たてわり班活動をはじめとする学校の最高学年としての役割について、卒業する6年生から5年生へと引継ぎが行われます。5年生は学校のリーダーになることへの自覚と目標をもち、6年生は引継ぎを通して自分の歩んできた道程を振り返り、卒業、新生活への意識を高めます。

子どもたちに今の学年で付けるべき力をしっかりと身に付けさせ、進級、進学に自信と目標をもって、はじめの一步を踏み出せるよう、今年度残り3か月間、教職員一同、教育活動の充実に邁進して参ります。

### 研究だより

6年生はSC科「プラスチックと私たちの未来」の学習で、生分解性プラスチックの「生分解性」を確認する実験を行いました。実験では、「土の中」や「海水の中」に入れた生分解性プラスチックと通常のプラスチックの変化の違いを確認することができました。学習のまとめとして、東京工業大学から柘植文治先生をお招きし、研究されている深海でも生分解が確認された「微生物ポリエステル」についてお話をいただきました。地球環境への負荷が少ないだけでなく、昨今問題になっている地球温暖化への対策にもなることを分かりやすく教えていただきました。

## 1月 学校行事予定

日	曜	行事予定	放課後
1	土	元日	
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金	冬季休業日終	
8	土		
9	日		
10	月	成人の日	
11	火	始業式 書き初め会1246年	×
12	水	安全指導 発育測定24年 給食始書き初め会35年	○
13	木	学級の時間 発育測定36年	○
14	金	電車バス通学児童指導 発育測定15年	○
15	土	ものづくり教育学習フォーラム	
16	日		
17	月	全校朝会 避難訓練(不審者) 委・代・た班長会議 補習3年	○
18	火	スキルタイム	○
19	水	午前授業 補習456年 体育朝会(長縄)1・3組/学級の時間2組	○
20	木	体育朝会(長縄)2組/学級の時間1・3組	○
21	金	委員会発表 歯みがき指導35年 東工大ゲストティーチャー4年	○
22	土	土曜授業日 補習3456年	×
23	日		
24	月	全校朝会 補習3年	○
25	火	スキルタイム	○
26	水	午前授業 たてわり遊び1~7班/学級の時間8~13班	○
27	木	たてわり遊び8~13班/学級の時間1~7班 東工大研究室ゲストティーチャー3年	○
28	金	午前授業 読み聞かせ	○
29	土		
30	日		
31	月	全校朝会 研究発表会	○

### ◆郵便局振込み

今月は給食費と教材費の引き落としが1月12日(水)にありますので、11日(火)までに御入金をお願いいたします。2学期会計報告でお知らせの通り、各学年教材費の徴収額が異なります。御確認ください。



## 1月の生活目標

### 「礼儀正しくしましょう」

生活指導部 伊藤 準紀

「礼儀正しくしましょう」とは、姿勢を正したり、挨拶を促したりする際に用いる一言です。「礼儀」について、辞書には、「生活する上で、人に対して失礼にならないようにするための作法」とあります。また「作法」とは、「人の動作や行動について、昔から決まっている正しいしかた」とあります。合わせると、「人に敬意を伝える正しい行動」ということになると思います。

新しい年に、しっかりと相手に伝わるよう、また、状況に応じて「人に敬意を伝える」礼儀はどうあるべきか自ら考えて行動できるよう、以下の項目を指導していきます。

- 「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」などが言える。
- 先生、主事さん、来校者の方に会ったら会釈ができる。
- 心のこもったあいさつをする。

### 書き初め会

国語部 大箸 毅

1月11日(火)・12日(水)に、3年生から6年生は学年ごとに体育館で、1、2年生は学級ごとに各教室で、書き初めを行います。日本の伝統的な書き初めの意義を理解し、心を込めて書くことができるように指導します。書写の学習や、冬休みの宿題の取り組みの成果が表れることが楽しみです。1、2年生は硬筆で、3年生以上は毛筆で各学年の課題の字を書き、校内に展示いたします。昨年度に引き続き、コロナ対応のため、例年行っている書き初めの保護者参観や東京都の展覧会は行われません。御了承ください。

### 研究発表に向けて

研究主任 坂本 大征

1月31日(月)に、「おおたサイエンススクール」としての研究発表会を行います。これは、他校の教職員向けに、本校教職員が日々取り組んでいる研究の成果を発表するもので、5校時に2、3、5年生の各1学級でSC科の公開授業を行い、他校の先生方に見てもらいます。科学大好きな子どもたちの、生き生きとした様子を広く発表できることを期待しています。

今回の研究発表会においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、大田区の各学校から教職員1名のみのお参観とさせていただきます。また、地域の方々や保護者の方々の参観につきましても中止いたします。

当日の様子等は、後日学校ホームページに掲載してお伝えする予定ですので、そちらを御覧ください。引き続き、本校の研究への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



## 学芸会アンケートより

副校長 野中 一宏

11月26日(金)・27日(土)の学芸会には、681名の保護者の皆様に御鑑賞いただき、257名(児童数の約65%)の方にアンケートを御提出いただきました。子どもたちは、見ていただく方がいることで、自分の力をより発揮できることを改めて感じました。今回、コロナの状況を鑑みて、学年ごとの入れ替え制といたしましたが、PTAオンライン委員会、広報委員会等の方々に御協力いただき、しみずくぼ・ねっとでの配信をいたしました。動画配信に向けて、御尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

アンケートでは、「子どもたちが元気に滞りなく演技をしているのを鑑賞しながら、毎日一生懸命練習したことが伝わってきました。」「コロナ禍で、御苦勞もあつたかと思えます。開催していただき感謝いたします。」といった感想をいただきました。

また、「椅子の配置が一直線ではなく、少しずつずらせば、後方の席でももう少し見やすかったのではないかと思います。」「三脚が無くても後ろから撮影させてほしい。」等の御意見もいただきました。2年後に向けて、検討させていただきます。(数字は人数です。)

項目	A	B	C	D
1学芸会に関する事前のお知らせや連絡は適切であった。	175	74	5	3
2子どもたちは頑張って演技に取り組んでいた。	222	35	0	0
3演技の内容は、子どもたちの実態や能力に合っていた。	175	74	7	1
4学芸会の進行はスムーズであった。	197	60	0	0
5学芸会の開催日程は適切であった。	179	77	0	1
6参観されている方々の態度は、ルールを守っていた。	152	95	9	0

(A とてもそう思う B そう思う C あまりそう思わない D 全くそう思わない)

### 駅伝大会

体育部 吉岡 興喜

12月11日(土)に大田スタジアムで小学生駅伝大会が行われました。大会にむけて11月中旬から5、6年生の代表児童が、週2回の早朝練習を行いました。当日は練習で培った一人一人の持久力を発揮し、午前部の部に参加した30校中3位でゴールしました。たくさんの方々の応援が、子どもたちにとって大きな力となりました。大会は終わりましたが、引き続き、体力向上の取り組みを進めて参ります。

### 子どもまつり

特活部 沼田 瑞稀

12月17日(金)に「子どもまつり」を行いました。今年度は1部が1、3、6年生、2部が2、4、5年生と2部に分かれて行いました。どの学級のお店もお客さんを喜ばせようという思いが詰まった素敵なお店で、クイズやゲームでお客さんを楽しませていました。子どもたちは、受付やルール説明、進行など、一人一人が自分の役割を果たし、友達と協力する良さを感じながらお店を開いていました。また、お客さんとしてお店を回っているときには、夢中になって遊び、異学年で交流する楽しさを味わうことができました。